

令和 3 年度  
定期 総 会  
議 案 書

日 時 令和 3 年 5 月 19 日 (水) 13 時 30 分～

場 所 苫小牧市文化会館 ホール

苫小牧市町内会連合会

# 次 第

1 開 会

2 会 長 挨 拶

苫小牧市町内会連合会 会 長 谷 岡 裕 司

3 来 賓 挨 拶

苫 小 牧 市 長 岩 倉 博 文 様

苫小牧市社会福祉協議会 会 長 渡 邊 敏 明 様

4 議 長 選 出

5 議 事

(1) 報告事項

- ① 報告第1号 令和2年度 事業報告 . . . . . 1
- ② 報告第2号 令和2年度 一般会計収支決算報告 . . . . . 18
- ③ 報告第3号 令和2年度 特別会計及び基金会計収支決算報告
  - ・令和2年度 町内会活動保険特別会計収支決算報告 . . . . . 21
  - ・令和2年度 運営財源準備基金調書 . . . . . 22
  - ・令和2年度 特別事業基金調書 . . . . . 23
- ④ 報告第4号 令和2年度 各会計監査報告 . . . . . 24

(2) 審議事項

- ① 議案第1号 令和3年度 事業計画（案） . . . . . 25
- ② 議案第2号 令和3年度 一般会計収支予算（案） . . . . . 30
- ③ 議案第3号 令和3年度 特別会計及び基金会計収支予算（案）
  - ・令和3年度 町内会活動保険事業特別会計 . . . . . 33
  - ・令和3年度 運営財源準備基金調書 . . . . . 34
  - ・令和3年度 特別事業基金調書 . . . . . 35

(3) その他

6 議 長 退 任

7 閉 会

## 令和2年度 事業報告

### 1 組織運営

#### (1) 定期総会（書面表決）

- ・回答期限・・・・・・・・5月16日～5月31日
- ・表決書の提出・・・・・・・・73町内会（82町内会内）
- ・審議案件の賛否・・・・承認73 / 非承認0
- ・議案
  - 1) 報告事項（原案通り承認）
    - ① 令和元年度 事業報告
    - ② 令和元年度 一般会計収支決算報告
    - ③ 令和元年度 特別会計及び基金会計収支決算報告
    - ④ 令和元年度 各会計監査報告
  - 2) 審議事項（原案通り承認）
    - ① 令和2年度 事業計画（案）
    - ② 令和2年度 一般会計収支予算（案）
    - ③ 令和2年度 特別会計及び基金会計収支（案）
    - ④ 役員改選について
  - 3) 関係機関からの資料
    - ① 令和2年度 まちかどミーティングについて
    - ② 『苦小牧市受動喫煙防止条例』の制定について
    - ③ 『消費者被害防止』出前講座・出前寸劇について
    - ④ 住みよいまちづくり通信

#### (2) 理事会

##### 1) 臨時

日時 5月15日（金）14時30分～

場所 市庁舎 9階 会議室

案件 1) 役員改選について

・推薦と承認

2) 正副会長の互選

3) 令和2年度の運営について

① 書面表決による定期総会

② 事業運営

③ 組織運営（各委員会・女性部会・ブロック会議）

##### 2) 第1回

日時 6月17日（水）10時00分～

場所 市民活動センター 3階 会議室2

- 案 件
- 1) 報告事項
    - ① 事業経過報告（道町連・胆町連）について
    - ② 定期総会（町連・婦人部会）書面表決結果報告について
    - ③ 町内会活動保険の状況について
  - 2) 協議事項
    - ① 委員会・部会の構成と取組について
    - ② 各種審議会及び実行委員会委員等の推薦について
    - ③ コロナ禍による課題及び要望について
    - ④ ブロック会議について

3) 第 2 回

日 時 9月23日（水）10時00分～  
場 所 市民活動センター 3階 会議室2  
案 件

- 1) 報告事項
  - ① 事業経過報告について
  - ② 各委員会報告について
- 2) 協議事項
  - ① 『住民組織活動の推進に関する要望書』について
  - ② 令和3年 新年交礼会及び表彰式の開催について

4) 第 3 回

日 時 11月9日（月）10時00分～  
場 所 市民活動センター 3階 会議室2  
案 件

- 1) 報告事項
  - ・ 事業経過報告について
- 2) 協議事項
  - ① 『住民組織活動の推進に関する要望書』の提出及び市長との懇談会
  - ② 令和2年度 町内会活動永年功績者表彰式の開催について

5) 第 4 回

日 時 3月18日（木）10時00分～  
場 所 苫小牧市文化会館 3階 第2・3会議室  
案 件

- 1) 報告事項
  - ・ 事業経過報告について
- 2) 協議事項
  - ① 令和3年度 北海道町内会連合会表彰の推薦について
  - ② 令和3年度 事業計画と予算（案）について
  - ③ 令和3年度 定期総会に向けて

### (3) 委員会・部会

#### 1) 総務委員会

##### 第 1 回

日 時 9月10日(木) 10時00分～

場 所 市職員会館 2階 201号室

案 件 1) 『住民組織活動の推進のに関する要望書』について

① ブロック会議から

② これまでの要望など

2) 組織運営について

① 財務運営について

② 令和3年 新年交礼会について

#### 2) 事業委員会

##### 第 1 回

日 時 10月1日(木) 10時00分～

場 所 市庁舎 会議室

案 件 1) 令和2年度 事業運営について

・ コロナ禍における事業運営

2) 令和3年度 事業計画について

① 町連事業

② 女性部会事業

##### 第 2 回

日 時 3月5日(金) 10時00分～

場 所 市民活動センター 2階 研修室A

案 件 1) 令和2年度 事業報告・決算見込について

2) 令和3年度 事業計画について

#### 3) 表彰審査委員会

##### 第 1 回

日 時 7月7日(火) 13時30分～

場 所 市職員会館 2階 201号室

案 件 ・ 令和2年度 苫小牧市町内会活動功績者表彰の実施について

##### 第 2 回

日 時 10月20日(火) 10時00分～

場 所 市庁舎 会議室

案 件 1) 令和2年度 苫小牧市町内会活動功績者表彰被表彰者決定について

2) 令和2年度 市長感謝状の推薦について

3) 表彰伝達方法について

#### 4) 女性部会

##### 第 1 回

日 時 7月3日(金) 10時00分～  
場 所 市職員会館 1階 101号室  
案 件 ・女性部会の運営について

#### (4) ブロック会議

##### 1) 中央ブロック

日 時 7月22日(水) 午後13時30分～  
場 所 苫小牧市民活動センター 会議室  
内 容 1) 住民組織活動の推進に関する市への要望  
2) 今後のブロック会議の活動  
3) 各町内会の課題と意見交換

##### 2) 見山・北光ブロック

###### 第 1 回

日 時 8月8日(土) 午後18時30分～  
場 所 見山町総合福祉会館  
内 容 1) 新型コロナウイルス感染症対策と今後の町内会活動について  
2) 町内会運営・諸活動における地域的な課題について

###### 第 2 回

日 時 3月13日(土) 午後18時30分～  
場 所 見山町総合福祉会館  
内 容 1) 11/12 提出した市長要望の市回答を受けて  
2) 令和3年度事業計画策定に向け、各町内会意見情報交換

##### 3) 日新・しらかばブロック

###### 第 1 回

日 時 8月1日(土) 午後13時00分～  
場 所 しらかば総合福祉会館  
内 容 1) 市に対しての要望について  
2) 各町内会意見交換

###### 第 2 回

日 時 11月27日(金) 午後13時30分～  
場 所 しらかば総合福祉会館  
内 容 1) 11/12 提出した市長要望の市回答を受けての協議  
2) 各町内会意見交換

#### 4) 鉄北ブロック

日 時 2月18日(木) 午後16時00分～  
場 所 明野柳総合福祉会館  
内 容 1) 各町内会の近況を踏まえた意見情報交換  
2) その他

#### 5) 錦岡ブロック

##### 第1回

日 時 7月6日(月) 午前10時00分～  
場 所 錦岡総合福祉会館  
内 容 ・「市長懇談会での要望書」の提出について

##### 第2回

日 時 8月17日(月) 午前10時00分～  
場 所 錦岡総合福祉会館  
内 容 ・「市長懇談会での要望書」の要望項目について

#### 6) 沼ノ端ブロック

日 時 8月20日(木) 午後18時00分～  
場 所 拓勇中央福祉会館  
内 容 1) 市(市長)への要望 町内会として  
2) コロナ禍における町内会の対応状況と取組  
3) 町連行事の対しての意見交換

#### (5) 市長懇談会

日 時 11月12日(木) 午後13時30分～  
場 所 市庁舎 5階 第2応接室  
内 容 1) 住民組織活動の推進に関する要望事項について  
2) 地域の課題について

#### (6) 監事会

日 時 4月7日(火) 10時00分～  
場 所 市庁舎 2階 21会議室  
案 件 ・令和元年度事業の執行状況及び経理事務の処理状況について

#### (7) 各種審議会、実行委員会への参画

## 2 研修交流事業

- (1) 町内会活動推進研修会（開催中止）
  
- (2) 新年交礼会（開催中止）
  
- (3) 北海道町内会連合会等主催研修会（開催中止）
  - 1) 全道町内会活動研究大会（札幌市）
  - 2) 町内会活動実践者研修会（札幌市）
  - 3) 道南ブロック町内会活動研究大会（登別市）
  
- (4) 胆振管内町内会連絡協議会主催研修会（開催中止）
  - ・ 町内会（自治会）活動研修会（伊達市）

## 3 町内会活動推進事業

- (1) 苫小牧市との連携
  - 1) 加入促進キャンペーン・町内会会報展
    - 日 時 3月30日（月）～4月3日（金）
    - 場 所 市庁舎 1階 正面玄関ロビー
    - 内 容 1) 町内会に関する相談及び町内会加入申込窓口ブースの設置
    - 2) 各町内会の会報の展示
    - 3) 加入促進ルーフレット及びポケットティッシュを配布
  - 2) 加入促進 PR 活動
    - 1) 広報「とまこまい」2月号（令和3年2月発行）にて、町内会活動特集記事を掲載
    - 2) 職員向け町内会活動周知活動
  
- (2) 「新型コロナウイルス感染症」対策
  - 1) 情報収集と発信
    - ① 拡大防止と町内会（自治会）運営
    - ② 「新北海道スタイル」と「新しい生活様式」
    - ③ 道内主要都市の対応状況の情報収集
    - ④ 活動事例・アイデア募集と提供
  - 2) 緊急アンケート調査の実施
  - 3) 「新北海道スタイル」に基づく町内会（自治会）活動指針の作成と周知



### (3) 苫小牧市社会福祉協議会との連携

#### 1) 社協と町連女性部会との意見交換会

日 時 3月15日(月)10時00分～  
場 所 市民活動センター 2階 研修室B  
内 容 ・コロナ禍における地域(福祉)活動について

## 4 顕彰事業

### (1) 苫小牧市町内会連合会表彰

日 時 1月13日(水)14時00分～  
場 所 市民活動センター 4階 講習室  
受賞者 町内会活動永年功績者表彰 159名  
・役員表彰 2名  
・50年表彰 1名 ・40年表彰 6名  
・30年表彰 20名 ・20年表彰 30名  
・10年表彰 100名  
※表彰式出席者は、30年表彰以上の表彰者

### (2) 苫小牧市長感謝

日 時 1月13日(水)14時00分～  
(令和2年度 町内会活動永年功績者表彰式席上)  
場 所 市民活動センター 4階 講習室  
受賞者 27名 ※町連表彰30年以上の表彰者

### (3) 北海道町内会連合会表彰

受賞者 優良単位・ブロック組織表彰  
・拓勇西町内会

### (4) 苫小牧市社会福祉協議会会長顕彰

受賞者 社会福祉に寄与した功労者(役員)  
・谷岡裕司氏  
・八島恵利子氏  
・半澤真佐子氏

## 5 関係機関等会議

### (1) 北海道町内会連合会

#### 1) 定期総会(書面表決)

案 件 1) 令和元年度事業・決算報告及び令和2年度事業計画・予算(案)

- 2) 役員（理事）の選任について
- 3) 令和3年度全国自治会連合会北海道札幌大会開催について

- 2) 市町村町内会・自治会事務担当者会議（書面会議）  
案 件 ・令和3年度事業計画（案）について

(2) 胆振管内町内会連絡協議会

- 1) 定期総会（書面表決）  
案 件 1) 令和元年度事業・決算報告及び令和2年度事業計画・予算（案）  
2) 役員改選（案）について
- 2) 理事会（書面会議）  
案 件 1) 令和2年度事業計画の修正について  
2) 町内会（自治会）活動研修会の中止について

6 参 加 行 事

- (1) 第64回とまこまい港まつり（開催中止）
- (2) 第55回とまこまいスケートまつり（開催中止）

7 「住民組織活動の推進に関する要望書」の提出

日 時 11月12日（木）午後13時30分～  
場 所 市庁舎 5階 第2応接室  
内 容 要望事項とそれに対する回答は次のとおり

要 望 事 項	回 答
<p>1 「協働のまちづくり」について</p> <p>これまで多くの要望をさせていただきましたが、町内会と行政による「協働のまちづくり」に向け、要望させていただきます。</p> <p>市民との協働のまちづくりに向けましては、市が設置する多くの審議会や協議会、実行委員会等に地域代表として本会役員が参画しています。</p> <p>一方、本会では、組織運営に関する基盤強化と地域や単位町内会が抱える様々な課題解決や隣接する町内会相互の連携強化に向け、今年度より「町連ブロック会議」を設置し取り組むこととしています。</p>	<p>これまで、市が推進する様々な施策の企画立案や実施にあたり、貴会役員の皆様から、貴重な御意見や多くの協力を頂き、感謝申し上げますとともに、今後においてもまちづくりの重要なパートナーの一員として、一層の御理解と御協力をお願いしたいと考えております。</p> <p>町連ブロック会議の設置運営は、貴会の自立に向けた組織運営の基盤強化を図るとともに、構成する町内会の思いや意見を取り纏め、地域づくりに提言を頂く上で、大変意義あるものと受け止めており、期待しているところでございます。</p> <p>本会としても、御要望の趣旨を受け止め、地域の</p>

今後のまちづくり、地域づくりにおける様々な地域課題の解決や各種行政施策の実現に向けて、本会理事会やブロック会議を構成する町内会と行政担当職員が必要に応じて意見交換や協議の場を持ちながら地域づくりを進めていく事を要望します。

## 2 「交通安全対策」について

様々な地域環境の変化により新たに発生している交通渋滞や混雑状況について地域の声を聞いていただき、今後における市の対策や取組について要望させていただきます。

### (1) 地域環境の変化と交通安全対策

ア 「マックスバリュ日新店」「トライアル 苫小牧西店」などの大型商業施設の新設による渋滞や混雑と周辺住民の安全確保への対策

イ 松風町で見られる介護福祉施設の新設や見山橋の橋梁整備による交通量や車両の流れの変化への対応

思いや考えを聞かせていただく等、課題解決に向け、町内会を所管する市民生活課を中心に横断的な対応を行い、貴会との連携強化に努めてまいりたいと考えております。

(市民生活部市民生活課 担当)

大型商業施設が新設される際には、地域の交通環境等の変化が想定されますことから大規模小売店舗立地法に基づき、交通安全対策の実施について事前要請を行っております。御指摘の2店舗につきましては、駐車場出入口に歩行者や通行車両への安全確保を促すことを目的とした注意喚起看板の設置や、混雑時の駐車場内における誘導員の配置などの対策を講じていただいております。

今後も継続的に、周辺地域の交通状況を注視し、必要な安全対策について要請してまいります。

(市民生活部市民生活課 担当)

交通量や車両の流れの変化への対応につきましては、見山橋長寿化対策改良工事の着手前に、見山橋を通過する車両や歩行者等の交通量調査を実施しております。また、完成後におきましても開通前と同様な調査を実施する予定でございますので、今後の調査結果や利用状況等を注視しながら、必要な交通安全対策を検討してまいります。

(市民生活部市民生活課 担当)

(都市建設部道路河川課 担当)

ウ 北光町などの開発行為による新興住宅地に規制標識の設置と啓発対策

開発行為による宅地造成後の住宅地への規制標識の設置につきましては、地域環境の変化等を注視しながら、実現可能な規制標識の設置に向け、地域町内会と協議を行い、所管の公安委員会へ要望してまいりたいと考えております。また、市で対応可能な注意喚起看板等の設置につきましては、これまでと同様に町内会と連携を図りながら、安全対策に努めてまいりたいと考えております。

さらに、市民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しいマナーを身に着けるため、関係機関・団体と連携し、交通安全運動を継続してまいります。

(市民生活部市民生活課 担当)

(2) 道道双葉三条通り中央分離帯の雑草、樹木の繁茂と交通安全対策 改善に向けては、様々な課題はあると思いますが、市として道路管理者に対し改善に向けた要望をお願いします。

道道双葉三条通りの中央分離帯の雑草等につきましては、これまでも、管理者である北海道に維持管理の強化を要望しております。北海道からは、草刈りは市街地を中心に実施しており、交差点付近の中央分離帯を舗装して視認性を高める整備を引き続き進めていくことや、街路樹の点検や道路パトロールで必要な措置を行っていくと伺っております。

今後も道路管理に対し、交通安全対策を継続して行っていただくよう要望してまいります。

(都市建設部緑地公園課 担当)

(3) 道央道苫小牧中央インターチェンジの開通と交通安全対策

ア 苫小牧中央インターチェンジの開通による車両の流れの変化や交通量の増大などの認識と新たな対策の必要性

苫小牧中央インターチェンジ開通による交通の変化や新たな対策の必要性につきましては、国道の道路管理者である北海道開発局をはじめ、事業主体である北海道及び苫小牧市が連携を図り、市内各所において開通前と開通後における交通量調査を実施する予定でございます。

市といたしましても、国や北海道、公安委員会と連携を図りながら、安全で円滑な交通が確保されるよう、国道 276 号高丘地区の 4 車線拡幅整備と交通安全対策について、引き続き、本市における最重

<p>イ 観光シーズンやお盆時期などにおける新たな交通規制の在り方</p> <p>ウ 周辺地域(町内会)への新たな安全対策に関する周知の必要性と対応</p> <p>3 「防災対策」について</p> <p>毎年、全国で発生している暴風雨等による甚大な災害は、本市においても例外ではなく、多くの災害事例を参考にした備えとコロナ禍による避難所の感染対策が急務になっています。これら災害と備えについて要望をします。</p> <p>(1) 避難所機能(一部継続要望)</p> <p>ア コロナ禍を見据え、災害時に必要とされる備蓄品の確保整備(市内全域)</p> <p>イ コロナ禍を踏まえた避難所の収容人員の計画見直しの必要性</p>	<p>点要望事項として国へ要望してまいります。</p> <p>(市民生活部市民生活課 担当)</p> <p>(都市建設部道路河川課 担当)</p> <p>観光シーズンやお盆時期などにおける渋滞への対応につきましては、関係部局とも連携を図りながら、円滑な車両の流れと更なる安全確保について、苫小牧警察署や道路管理者である北海道開発局と協議してまいりたいと考えております。</p> <p>(市民生活部市民生活課 担当)</p> <p>苫小牧中央インターチェンジ開通による交通環境の変化に伴う周辺住民の安全確保につきましては、今後の交通量の変化について町内会と情報を共有するとともに、今後においても、苫小牧警察署や道路管理者である北海道開発局と継続して協議してまいりたいと考えております。</p> <p>(市民生活部市民生活課 担当)</p> <p>市としましても、避難所における新型コロナウイルス感染症対策は重要であると認識しており、今年度新たに、避難所の備蓄品としてマスク及び消毒液、非接触型体温計、ビニール手袋等の整備を行い、感染症対策を進めているところでございます。</p> <p>(市民生活部危機管理室 担当)</p> <p>北海道では、コロナ禍における避難所の1人当たり面積を3㎡としており、これに基づくと、本</p>
--	--

市の指定避難所（学校）の収容人数は約 2 万 1 千人で、市が想定する被災者 1 万人分のスペースは充足されております。

あわせて、発災時には、通常よりもより多くの避難所を開設して収容スペースを確保するとともに、住民の避難行動においても、指定避難所への避難の他に、安全が確保できる場合には、在宅避難や親せき、知人宅等への避難といったいわゆる分散避難を検討することについて市民周知を図り、避難所の 3 密防止に努めてまいります。

（市民生活部危機管理室 担当）

ウ 町内会館の避難所機能と体制整備の取組

地震や津波、火山噴火など大規模災害のリスクを抱える本市では、より多くの避難者を収容するため、学校を避難所に指定して備蓄品や人員を配備してまいりました。また、災害の種類や規模によっては、町内会の御協力のもと一時的に町内会館を避難所として活用させていただき、その際には、学校配備の備蓄品や人員を流用して対応しております。

胆振東部地震を教訓とした避難所の強化策として、本市では、備蓄品の仕様の見直し（アルファ米の小口化）や停電対策用蓄電池の導入など、備蓄品の充実強化を図るとともに、新たに災害対応用の中型トラックを導入し、物資を円滑に運搬できる体制を整えてまいりました。今後とも、学校を核とした避難所機能の強化に努めるとともに、状況により町内会館等を活用するケースを見据え、町内会との情報共有・連携の強化を図ってまいります。

（市民生活部危機管理室 担当）

エ 災害事例別の避難所の役割と機能表示

指定避難所には、以前から避難所看板を設置しておりますが、災害種別によって避難可能な避難所が異なることから、年度内に、災害種別の適否が分かる内容で看板を変更してまいります。

（市民生活部危機管理室 担当）

(2) 内閣府で示す「日本海溝・千島海溝沿い

本年 4 月に、国から「日本海溝・千島海溝沿い

の巨大地震」を見据えたハザードマップの見直し

の巨大地震モデル」が公表され、現在北海道が津波浸水想定を検討を進め、年度内を目途に各市町村に公表する見込みとなっております。市としましては、北海道による津波浸水想定が公表された際には、速やかに現行の津波ハザードマップの改訂作業を進めてまいります。

(市民生活部危機管理室 担当)

(3) 現実的な避難行動の課題と対策

ア 桜坂町など高台地域への車両による避難行動と車両対策

津波避難においては、原則徒歩避難が推奨されており、これまでも出前講座等の機会を捉え、津波災害時の避難には車両を使用しないよう周知・啓発を行ってきたところです。市としましては、車両で避難することのリスクについて引き続き周知・啓発を行うとともに、今後見直しを行います津波ハザードマップをもとに、津波災害時における最善な避難方法等についても周知を図ってまいりたいと考えております。

(市民生活部危機管理室 担当)

イ JR室蘭本線の踏切及び国道横断と避難行動対策

本市におきましては、津波発生時には鉄道北側への避難を要する区域があり、停電時の踏切の問題についてJR北海道はもとより、北海道に対しても現状を伝え、改善を求めているところですが、現段階では具体的な改善策は示されておりません。

近隣自治体においても同様の課題を抱えていると伺っており、これらの近隣自治体とも情報交換及び連携を図りながら、引き続きJR北海道や国・北海道に改善を求めてまいります。

(市民生活部危機管理室 担当)

(4) 苫小牧川の水草の草取りと樹木の伐採

苫小牧川における水草の草取りと樹木の伐採につきましては、苫小牧川を管理する北海道室蘭建設管理部から「苫小牧川は河川改修が完了しており、比較的治水安全度が高い河川でございます。御要望の水草は、洪水を阻害する要因とはならないため、除去の予定は検討中でございますが、洪水の支障と

なり得る樹木の伐採につきましては、予算の確保と合わせ、堤防や排水口付近を優先に実施してまいります。」と伺っております。

市といたしましても、苫小牧川をはじめとする二級河川の適切な維持管理を実施していただけるよう、引き続き、本市における重点要望事項として北海道へ要望してまいります。

(都市建設部道路河川課 担当)

#### 4 「町内会活動の推進とまちづくり」について

町内会運営と諸活動に関しましては、これまでも要望をさせていただき、多くの課題について取り組んでいただいているものと認識しています。本要望に関しましては、難しい環境の中で取り組む町内会の窮状をご理解いただき、継続的要望と地域が抱える課題に関し要望させていただきます。

##### (1) 町内会活動の推進

ア 街路灯の設置、交換費用に対する市補助金の補助率見直しの再考

街路灯の設置、交換費用に対する市の補助率につきましては、町内会が設置し、その設置費の3/5を市が助成するという、これまでの取組を当面は継続してまいりたいと考えております。なお、「地域の安全安心を市と町内会の協働で守る」という観点から電気料の全額を市が負担しておりますので御理解ください。

(市民生活部市民生活課 担当)

イ 会員減少による町内会運営の救済対策について

少子高齢化、共働き世帯の増加等、ライフスタイルの変化とともに、町内会に対する認識の希薄化や加入率低下などにより、町内会運営が難しい環境になってきているものと認識しております。こうした現状やこれまでの要望に対する加入促進活動の取組として、賃貸住宅関係団体への協力要請を行っているほか、新たな共同住宅の建築に関して、建築予定地の町内会に事前に情報提供し、加入促進に役立



ていただいております。また、新興住宅地の造成に関しては、開発を行う事業者やハウスメーカー等に、町内会に事業概要を情報提供するよう要請しております。

今後においても、これらの取組を継続するとともに、町連ブロック会議等の機会を頂き、持続可能な町内会の在り方について、それぞれの地域性を踏まえながら貴会や単位町内会の皆様と協議、検討させていただければと考えております。

(市民生活部市民生活課 担当)

(2) 錦岡鉄北地区のまちづくりと市の分譲地の利活用について

ア 錦西ニュータウン分譲地の売却状況と今後の利活用

錦西ニュータウンでは建築物の用途の規制別に、低層専用の住宅地区として「E3(イースリー)地区」、アパートなど低層から中層住宅向けの「共同住宅用地」、事務所や店舗向けの「店舗用地」、一般の住宅等は建てられない「軽工業団地」の4地区を分譲しています。

売却状況は、E3地区、共同住宅用地及び店舗用地は概ね5割が売却済み、軽工業団地は今年度6区画を分譲しておりましたが、1区画は売却済み、残りの区画についても各購入希望者と売買に向けて協議を行っているところです。今後につきましても引き続き分譲を行ってまいりたいと考えております。

(財政部管財課 担当)

イ 当該分譲地区内における福祉施設等の設置の可否

現在分譲しているE3地区、共同住宅用地、店舗用地及び軽工業団地の4地区では、それぞれの地区ごとに建築物の用途規制が異なりますので、ひと口に福祉施設と申しましても建築可能な施設が異なりますが、例えば特別養護老人ホームにつきましては、4地区のうち、軽工業団地以外では建築できないとされています。

福祉施設等の設置可否につきましては、具体的にどのような施設なのかによって建築の可否が判断

ウ 市による低所得者向けの高齢者介護保健施設の設置に関する考え方

(3) 市民と共に考える公共施設づくりについて

本市では、教育・文化・体育などの様々な分野で利用できる多くの公共施設に恵まれ、多くの市民が余暇活動や生涯学習活動に利用しているものと認識しています。しかし、これらの施設は老朽化が進み、今後の公共施設の在り方等について「公共施設白書」や「公共施設の適正配置基本計画」が示されています。その中では「市民と共に考える公共施設」という基本理念が示されており、新たな取組に期待をしています。本会では、町内会活動の拠点となる町内会館の新たな在り方について、「町内会」や「地区社協」「地区民協」そして「行政」などが連携と情報共有を図り、活動の充実を目指した活動拠点となる『(仮称)地区連合町内会館』の可能性について検討していきたいと考えています。将来に向けて、持続可能な町内会活動の取組の一つとして、活動拠点となる新たな施設づくりに向け、実現性の可否も含め、本会やブロック会議と行政担当職員の意見交換をはじめ協議、検討をさせていただくことを要望します。

されるものです。

(財政部管財課 担当)

市では現在、令和3年度からの苫小牧市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定を行っております。施設サービスの需要と供給についても検討しているところでありますが、養護老人ホーム静和荘を民間へ移譲した経緯や現下の厳しい財政状況などから、高齢者福祉施設は民間事業者に設置していただくことが望ましいと考えております。今後も住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせる環境となるよう努めてまいります。

(福祉部介護福祉課 担当)

町内会の拠点となる町内会館の維持管理や修繕、建替えは町内会が抱える課題の一つとして認識しております。

御要望にあります「(仮称)地区連合町内会館」につきましては、貴会や関係町内会としての方向性や考え方を伺いながら、将来的な取組の一つとして可能か否かを含め検討させていただきたいと考えております。

今後も貴会や関係町内会と連携し、地域の思いや考えを聞かせていただく等、課題解決と連携強化に努めてまいりたいと考えております。

(市民生活部市民生活課 担当)

## 8 町内会清掃活動事業協力

(1) 「春の大掃除月間」 4月19日～5月18日

4月19日 全市一斉の大掃除『ゼロごみの日』

(2) 「秋の大掃除月間」 10月1日～10月31日

10月18日 全市一斉の大掃除『ゼロごみの日』

## 9 町内会活動保険支給状況

No.	受給者	発生年月日	種類	事故状況・支給内容	診断名	支給額
1	女性 (84歳)	R02. 9. 25	傷害	広報配布中にアパートの階段を踏み外し転倒落下。	左肩脱臼骨折・肋骨骨折・全身打撲	24,000円
2	男性 (68歳)	R02. 10. 4	傷害	町内古紙回収作業中、移動の際左膝関節を捻る。	左足膝関節靭帯損傷	16,000円
3	女性 (62歳)	R02. 11. 29	傷害	町内会報を配布中、歩道の凹凸に躓き転倒。	左腕骨折	46,000円
4	女性 (73歳)	R03. 1. 29	傷害	町内会会議に出席するために町内会館へ向かう途中転倒。	左手首複雑骨折	126,000円

## 10 広報活動

(1) 機関紙「町連だより」の発行

- ・第48号 発行（令和2年8月11日付）
- ・第49号 発行（令和3年1月20日付）

(2) 町連ホームページの更新・充実強化

- ・ホームページアドレス <http://tomakomai-tyouren.jp/>  
令和2年度 ホームページリニューアル / 情報提供随時更新

## 11 その他

(1) 町内会記念事業

- ・新開明野元町町内会 町内会館落成記念式典

(2) お悔やみ

- ・系井南町内会 会長 故 高橋悦章 氏（9月10日 逝去）

## 令和2年度 苫小牧市町内会連合会 一般会計収支決算書

収入金額 4,770,724 円  
 支出金額 3,026,927 円  
 収支差引 1,743,797 円

## 収入の部

(単位:円)

款 項	予 算 額			決算額	増減額	説 明
	当初予算額	補正額	予算現額			
<b>1 会 費</b>	<b>1,652,000</b>		<b>1,652,000</b>	<b>1,652,420</b>	<b>420</b>	
1 会 費	1,652,000		1,652,000	1,652,420	420	1 単位町内会会費 20 円 × 82,621 世帯 1,652,420
<b>2 負 担 金</b>	<b>3,445,000</b>		<b>3,445,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,445,000</b>	
1 研修会等参加負担金	3,445,000		3,445,000	0	△ 3,445,000	1 各種研修事業等参加負担金 0 2 新年交礼会 0
<b>3 助 成 金</b>	<b>1,755,000</b>		<b>1,755,000</b>	<b>1,445,000</b>	<b>△ 310,000</b>	
1 市助成金	1,400,000		1,400,000	1,400,000	0	1 苫小牧市住民組織活動助成金 1,400,000
2 道町連助成金	310,000		310,000	0	△ 310,000	1 ひとりの不幸もみのがさない 30,000 円 × 0 町内会 0 2 防災活動研修会支援助成 20,000 円 × 0 町内会 0
3 共募助成金	45,000		45,000	45,000	0	1 苫小牧市共同募金委員会助成金 45,000
<b>4 繰 入 金</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
1 繰 入 金	0		0	0	0	1 運営財源準備基金より繰入 0
<b>5 雑 収 入</b>	<b>1,000</b>		<b>1,000</b>	<b>204,127</b>	<b>203,127</b>	
1 雑 収 入	1,000		1,000	204,127	203,127	1 道町連「ハンドブック改訂版」頒布町内会負担金 204,100 2 預金利息 27
<b>6 繰 越 金</b>	<b>1,469,000</b>		<b>1,469,000</b>	<b>1,469,177</b>	<b>177</b>	
1 繰 越 金	1,469,000		1,469,000	1,469,177	177	前年度繰越金 1,469,177
<b>合 計</b>	<b>8,322,000</b>	<b>0</b>	<b>8,322,000</b>	<b>4,770,724</b>	<b>△ 3,551,276</b>	

支出の部

款	予 算 額				決算額	残 額	説 明	
	項	当初予算額	補正額	流用 (充当)額				予算現額
<b>1 総務管理費</b>	<b>1,687,000</b>		<b>0</b>	<b>1,687,000</b>	<b>1,181,491</b>	<b>505,509</b>		
<b>1 一般管理費</b>	1,081,000		0	1,081,000	916,892	164,108		
2 需用費	240,000			240,000	136,740	103,260	1 一般事務用消耗品ほか 136,740	
3 印刷製本費	10,000		△ 6,966	3,034	0	3,034	2 町連だより作成ほか 0	
4 役務費	270,000			270,000	248,260	21,740	3 郵送料ほか 248,260	
8 使用料	146,000		6,966	152,966	152,966	0	4 HP運営経費 152,966	
9 負担金	115,000			115,000	113,900	1,100	5 会費 113,900	
12 諸 費	300,000			300,000	265,026	34,974	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道町内会連合会会費</li> <li>・暴力追放運動推進協議会会費</li> <li>・苫小牧心身障害者職親会会費</li> <li>・介護者を支える会会費</li> <li>・胆振管内町内会連絡協議会会費</li> <li>・東胆振精神保健協会会費</li> </ul>	
							6 諸費 265,026	
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織運営諸費</li> <li>・慶弔費ほか</li> </ul>	
<b>2 会議費</b>	606,000			606,000	264,599	341,401		
1 旅 費	319,000			319,000	184,000	135,000	1 総会 16,442	
2 需用費	64,000			64,000	22,959	41,041	2 理事会 126,317	
8 使用料	73,000			73,000	1,800	71,200	3 委員会 66,000	
9 負担金	125,000			125,000	55,840	69,160	4 ブロック会議 55,840	
12 諸 費	25,000			25,000	0	25,000	5 北海道町内会連合会総会 0	
							6 胆振管内町内会連絡協議会理事会・総会 0	
							7 事務担当者会議他事務連絡 0	

款	予 算 額				決算額	残 額	説 明	
	項 目	当初予算額	補正額	流用 (充当)額				予算現額
<b>2 事業費</b>		<b>5,325,000</b>		<b>0</b>	<b>5,325,000</b>	<b>445,436</b>	<b>4,879,564</b>	
<b>1 研修費</b>		1,547,000			1,547,000	0	1,547,000	
1 旅 費		355,000			355,000	0	355,000	1 町内会活動推進研修会 0
2 需用費		243,000			243,000	0	243,000	2 北海道町内会連合会研修会 0
3 印刷製本費		27,000			27,000	0	27,000	3 胆振管内町内会連絡協議会 研修会 0
8 使用料		439,000			439,000	0	439,000	
9 負担金		146,000			146,000	0	146,000	
10 報償費		60,000			60,000	0	60,000	
12 諸 費		277,000			277,000	0	277,000	
<b>2 活動費</b>		3,518,000		0	3,518,000	242,000	3,276,000	
2 需用費		3,168,000			3,168,000	0	3,168,000	1 新年交礼会 0
3 印刷製本費		300,000		△ 192,000	108,000	0	108,000	2 町内会加入促進 242,000
12 諸 費		50,000		192,000	242,000	242,000	0	・ホームページ更新
<b>3 顕彰費</b>		260,000			260,000	203,436	56,564	
2 需用費		100,000			100,000	57,136	42,864	1 永年功績者表彰経費 203,436
3 印刷製本費		160,000			160,000	146,300	13,700	
<b>3 助成金</b>		<b>310,000</b>			<b>310,000</b>	<b>0</b>	<b>310,000</b>	
<b>1 助成金</b>		310,000			310,000	0	310,000	
11 助成金		310,000			310,000	0	310,000	1 北海道町内会連合会事業助成金 0 ・ ひとりの不幸もみのがさない住みよいま ちづくり全道運動活動費助成金 ・ 防災活動研修会支援助成金
<b>4 繰出金</b>		<b>0</b>	<b>1,400,000</b>		<b>1,400,000</b>	<b>1,400,000</b>	<b>0</b>	
<b>1 繰出金</b>		0	1,400,000		1,400,000	1,400,000	0	1 運営財源準備基金へ繰出 1,400,000
<b>5 予備費</b>		<b>1,000,000</b>			<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	
<b>1 予備費</b>		1,000,000			1,000,000	0	1,000,000	
<b>合 計</b>		<b>8,322,000</b>	<b>1,400,000</b>	<b>0</b>	<b>9,722,000</b>	<b>3,026,927</b>	<b>6,695,073</b>	

## 令和2年度 町内会活動保険 特別会計収支決算書

収入金額 2,896,503 円  
 支出金額 2,846,720 円  
 収支差引 49,783 円（次年度へ繰越）

## 収入の部 (単位:円)

款 項	予算額	決算額	増減額	説 明
<b>1 負担金</b>	<b>450,000</b>	<b>450,100</b>	<b>100</b>	
1 負担金	450,000	450,100	100	1 各町内会保険金 450,100
<b>2 助成金</b>	<b>1,300,000</b>	<b>1,300,000</b>	<b>0</b>	
1 市助成金	1,300,000	1,300,000	0	1 町内会活動保険市助 1,300,000
<b>3 繰入金</b>	<b>1,100,000</b>	<b>1,100,000</b>	<b>0</b>	
1 繰入金	1,100,000	1,100,000	0	1 運営財源準備基金繰入金 1,100,000
<b>4 雑収入</b>	<b>1,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,000</b>	
1 雑収入	1,000	0	△ 1,000	1 預金利息 0
<b>5 繰越金</b>	<b>46,000</b>	<b>46,403</b>	<b>403</b>	
1 繰越金	46,000	46,403	403	前年度繰越金 46,403
<b>合 計</b>	<b>2,897,000</b>	<b>2,896,503</b>	<b>△ 497</b>	

## 支出の部 (単位:円)

款 項	予算額	決算額	残 額	説 明
<b>1 保険料</b>	<b>2,847,000</b>	<b>2,846,720</b>	<b>280</b>	
1 保険料	2,847,000	2,846,720	280	1 町内会活動保険料 2,846,720
<b>2 総務管理費</b>	<b>20,000</b>	<b>0</b>	<b>20,000</b>	
1 一般事務費	20,000	0	20,000	1 需要費 0 2 役務費 0
<b>3 予備費</b>	<b>30,000</b>	<b>0</b>	<b>30,000</b>	
1 予備費	30,000	0	30,000	1 予備費 0
<b>合 計</b>	<b>2,897,000</b>	<b>2,846,720</b>	<b>50,280</b>	

## 令和2年度 運営財源準備基金調書

(単位:円)

前年度末基金残高	令和2年度 増減額			今年度末基金残高
	増 ※1	減 ※2	差引増減額	
16,291,007	1,434,312	1,100,000	334,312	16,625,319

※1 一般会計より繰入による増額 140万円

※2 町内会活動保険特別会計へ繰出による減額110万円

## 運営財源準備基金運用調書

(単位:円)

運用方法	運用先	利率	運用益	
普通預金	苫小牧信用金庫	2,344,654	0.001%	94
	北洋銀行	275,318	0.001%	2
定期預金	苫小牧信用金庫	2,000,000	0.010%	170
	北海道銀行	2,000,170	0.010%	170
	北洋銀行	5,005,177	0.010%	424
平成24年度 北海道公募公債 (償還日R04.10.31)	北洋銀行	5,000,000	0.790%	33,452
合	計	16,625,319		34,312

※北洋銀行(普通預金)は、平成24年度北海道公募公債の利金及び普通預金利息積立として運用。



## 令和 2 年度 特別事業基金調書

(単位:円)

前年度末基金残高	令和 2 年度 増減額			今年度末基金残高
	増	減	差引増減額	
5,255,219	445	0	445	5,255,664

## 特別事業基金運用状況調書

(単位:円)

運用方法	運 用 先	利 率	運 用 益
定期預金	とまこまい広域 農業協同組合	5,255,664	0.01%
合	計	5,255,664	445

苫小牧市町内会連合会  
令和2年度 各会計監査報告書

令和2年度苫小牧市町内会連合会の「一般会計」、「町内会活動保険特別会計」及び「運営財源準備基金会計」並びに「特別事業基金会計」の収支諸帳簿、領収証書、預貯金通帳、財務諸表、関係処理規定について監査した結果、それぞれの計数に相違なく、証拠書類も整備され適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

令和3年4月5日

苫小牧市町内会連合会

会長 谷岡 裕 司 様

苫小牧市町内会連合会

監 事

監 事

監 事

## 令和3年度事業計画(案)

～ 心を寄せ合い 地域を支える 地縁の力 ～

### 【基本方針】

私たち苫小牧市町内会連合会(町連)は、市内82町内会の思いや考えをまとめ、安全安心できれいな住みよい“地域づくり”、“まちづくり”に取り組むとともに関係機関をはじめ諸団体に声を届けています。

本会では、地域の特性を損なうことなく、「自らの地域は自らが守る！」を基本テーマとし、“防災の絆”、“福祉の絆”、“教育の絆”を柱に、住民一人ひとりが主体的に参加できる町内会活動を目指しています。

昨年、突然発生した“新型コロナウイルス感染症”の拡大は、ワクチン接種が始まっているものの、いまだに予断を許さない状況にあり、今後も長期化を視野に入れながら、様々な社会活動の水準を引き上げていく事が重要とされています。

現在、『ソーシャルディスタンスの確保』、『マスク着用』、『手洗い励行』など、新しい生活様式が根付いている状況においても、なお感染拡大の不安を感じる住民は少なくありません。

町内会活動においては、こうした新しい生活様式やスタイルを継続しながら、「活動の必要性」や「実施する上での対策」などを住民に周知し、理解と協力を得た上での活動が望まれます。

令和3年度におきましては、これまでの町内会活動を通して培った知識と経験を活かし、新しい生活様式やスタイルに沿った新たな「活動と仕組みづくり」を目指したいと考えています。

### 《 重点目標 》

- 1 地域の“助け合い”や“コミュニティ活動”の機運が消滅しないように・・・！
- 2 町内会(自治会)活動の大切な役割を見失わないように・・・！
- 3 住民の皆さんが生活意欲を喪失しないように・・・！！
- 4 “ムリ”をしない！ させない！！

## 【事業実施計画（予定案）】

令和3年度事業計画及び予算(案)については、コロナ禍の先行きが見通せない中にあることから、これまでの実績や計画を踏まえた計画としています。

事業実施に向けては、今後において国、北海道、苫小牧市並びに北海道町内会連合会から逐次示される方針や対策を考慮しながら、必要に応じて役員会等(会則に定める会議)で協議、検討し実施していく事とします。

なお、実施にあたっては、当面の間、昨年本会が示した『新北海道スタイルに基づく町内会(自治会)活動指針』により実施していきますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

### 1 組織運営

本会組織の基盤強化と効率的な運営を目指し、必要な会議や委員会等を設置し、有効的な組織運営と事業の推進を図る。

#### (1) 会務

##### ① 定期総会（会則第11条各項）

□ 令和3年5月19日（水）

苫小牧市文化会館 ホール

##### ② 理事会及び正副会長会議（会則第12条及び第13条各項）

□ 定例及び随時開催

##### ③ 各委員会・部会（会則第14条～第16条各項）

□ 随時開催

ア 総務委員会

イ 事業委員会

ウ 表彰審査委員会

エ 女性部会

オ 監事会

#### (2) ブロック会議と町内会相互の連携強化（会則第17条各項）

□ 随時開催

地域の特性と自主性を尊重するとともに、ブロック会議を通じた町内会相互の連携強化により、持続可能な町内会運営と活動の推進を図る。

#### (3) 市長懇談会の実施

□ 令和3年 秋季

町内会や地域が抱える広域的な課題などについて、直接市長に声を届けるとともに、その課題解決とまちづくりの諸施策に関する意見交換の場として実施する。

#### (4) 各種審議会、実行委員会への参画

##### □ 関係機関・団体の要請に応じて参画

行政をはじめ関係機関、団体が所管する各種審議会や実行委員会等に地域代表として役員を推薦し、町連・町内会・地域の思いや考えを届けていく。

## 2 研修交流事業

町内会活動の推進に向けた知識、技法の習得をはじめ、情報の収集、交換、交流を通して、町内会が抱える課題の解決と町内会活動の活性化を図る。

#### (1) 町内会活動の推進に向けた研修会、講演会等の実施

#### (2) 町内会活動に関する各種研修・研究大会等への参加

#### (3) 各種地域活動に関する研修事業への参画

#### (4) 男女共同の推進と地域活動における女性役員の研修、交流

## 3 町内会活動推進事業

町内会の組織強化と拡大に向けた加入促進と地域活動の活性化に向け、町内会相互の連携、交流を図るとともに様々な機会をとらえて加入促進活動を推進する。

#### (1) 情報発信と啓発

##### ① 本会ホームページ、会報による情報発信

##### ② 町内会「会報展」の開催協力

##### ③ 各種「生活情報誌」、「タウンガイド」、「新聞」などへの情報提供

#### (2) 加入促進

##### ① 加入促進用リーフレット等の作成、配布

##### ② 加入促進キャンペーンの実施、協力

##### ③ 『会費納入票』の作成、配布

#### (3) 『(仮称)電子町内会！』事業の調査研究

新型コロナウイルス感染症の発生、拡大は市民生活を取り巻く様々な活動に影響を与えている。これまで長い歴史を有する町内会(自治会)活動においても、新しい“活動スタイル”や“活動様式”が望まれており、情報化を取り入れた活動の一つとして『(仮称)電子町内会』の構築、運用に向けた調査研究、研修に取り組む。

#### (4) 連携・交流

- ① 新年交礼会等を通じた町内会相互の連携、協力、親睦、交流の促進  
※ コロナ禍における『新年交礼会』の在り方や開催方法等に関して、役員会やブロック会議において協議、検討しながらその方向性を見出す。
- ② 目的別自主団体（自主防災組織、交通安全指導委員会、防犯協会等）との連携、協力
- ③ 北海道町内会連合会及び胆振管内町内会連絡協議会の各種事業への参画
- ④ 民生委員児童委員協議会との連携、協力
- ⑤ 小中学校、PTA、校区連との連携
- ⑥ 市による「まちづくり事業」及び各種施策への参加、協力
- ⑦ 苫小牧市社会福祉協議会による各種事業への参加、協力
- ⑧ 苫小牧市共同募金委員会、日本赤十字社苫小牧市地区の活動協力
- ⑨ その他地域活動関係団体との連携、協力

#### (5) 町内会活動保険の充実

- ① 傷害補償
- ② 賠償責任補償
- ③ 障害見舞費用補償

## 4 顕彰事業

地域活動をはじめ町内会運営に対し、永年に渡り功績のあった役員や町内会等を表彰又は推薦する。

- ① 苫小牧市町内会連合会永年功績者の表彰
- ② 北海道町内会連合会表彰推薦
  - 優良組織表彰
  - 功労者表彰
  - 功労者感謝
- ③ 苫小牧市自治貢献者表彰推薦
- ④ 苫小牧市社会福祉協議会会長顕彰推薦

## 令和 3 年度 月別事業計画（案）

月	日	事 業 内 容
4	5 18 18 ~ 31	令和 2 年度収支決算 会計監査 全市一斉大掃除の日（「ゼロごみの日」） 春の大掃除月間（5/17 まで）
5	1 ~ 31 中 旬 19 26 下 旬	日赤社資募集協力 緑の募金運動協力 定期総会（苫小牧市文化会館） 北海道町内会連合会定期総会（札幌市） 胆振管内町内会連絡協議会定期総会（伊達市）
6	中 旬 下 旬 下 旬	第 1 回 理事会 第 1 回 事業委員会 第 1 回 女性部会
7	上 旬 下 旬 30 ~	第 1 回 総務委員会 第 1 回 表彰審査委員会 第 66 回 苫小牧港まつり参加協力（7/30~8/1）
8	下 旬	第 2 回 理事会
9	10 21	セーフティウェーブ・イン・苫小牧 2021 大規模「旗の波作戦」
10	1 ~ 31 1 ~ 31 17 中 旬 下 旬	赤い羽根共同募金運動協力 秋の大掃除月間 全市一斉大掃除の日（「ゼロごみの日」） 北海道町内会連合会ブロック別町内会活動研究大会 第 2 回 表彰審査委員会（単位町内会から被表彰者推薦）
11	上 旬 中 旬 下 旬 下 旬	第 2 回 女性部会 胆振管内町内会連絡協議会研修会（伊達市） 第 3 回 理事会 町内会活動の推進に向けた「市長懇談会」及び「要望書の提出」
12	1 ~ 31	歳末たすけあい運動協力
1	18 27	新年交礼会並びに表彰式（グランドホテルニュー王子） 女性部会 新年交礼会（グランドホテルニュー王子）
2	上 旬 上 旬 中 旬	第 56 回 とまこまいスケートまつり参加協力 第 2 回 事業委員会 北海道町内会連合会市区町村町内会・自治会事務担当者会議（札幌市）
3	上 旬 下 旬	第 2 回 総務委員会 第 4 回 理事会
◇ 定例正副会長会議（毎月第 2 水曜日定例・その他随時開催）		

## 令和3年度 苫小牧市町内会連合会 一般会計収支予算（案）

総 括

収入金額 8,675,000 円

支出金額 8,675,000 円

## 収入の部

(単位:千円)

款 項	予 算 額		比 較	説 明
	本年度	前年度		
<b>1 会 費</b>	<b>1,650</b>	<b>1,652</b>	<b>△ 2</b>	(単位:円)
1 会 費	1,650	1,652	△ 2	単位町内会会費 20 円 × 82,536 世帯 1,650,720
<b>2 負 担 金</b>	<b>3,408</b>	<b>3,445</b>	<b>△ 37</b>	
1 研修会等参加負担金	3,408	3,445	△ 37	1 各種研修事業等参加負担金 108,000 ・町内会活動推進研修会 ・ブロック別町内会活動研究大会(北海道町内会連合会) ・町内会自治会活動研修会(胆振管内町内会連絡協議会)
				2 新年交礼会 6,000 円 × 550 名 3,300,000 ・町内会連合会 ・町内会連合会女性部会
<b>3 助 成 金</b>	<b>1,873</b>	<b>1,755</b>	<b>118</b>	
1 市助成金	1,400	1,400	0	1 苫小牧市住民組織活動助成金 1,400,000
2 道町連助成金	310	310	0	1 ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動 50,000 円 × 5 町内会 250,000 2 防災活動研修会支援助成事業 20,000 円 × 3 町内会 60,000
3 共募助成金	163	45	118	1 苫小牧市共同募金会助成金 43,000 2 歳末助け合い募金助成金 120,000
<b>4 繰 入 金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
1 繰 入 金	0	0	0	1 運営財源準備基金より繰入 0
<b>5 雑 収 入</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	
1 雑 収 入	1	1	0	1 預金利息 1,000
<b>6 繰 越 金</b>	<b>1,743</b>	<b>1,469</b>	<b>274</b>	
1 繰 越 金	1,743	1,469	274	1 前年度繰越金 1,743,797
<b>合 計</b>	<b>8,675</b>	<b>8,322</b>	<b>353</b>	



支出の部

(単位:千円)

款	予 算 額		比 較	説 明
	本年度	前年度		
<b>1 総務管理費</b>	<b>1,720</b>	<b>1,687</b>	<b>33</b>	
<b>1 一般管理費</b>	1,144	1,081	63	
2 需用費	292	240	52	1 一般事務用消耗品ほか 292,000
3 印刷製本費	10	10	0	2 町連だより作成ほか 10,000
4 役務費	270	270	0	3 郵送料ほか 270,000
8 使用料	158	146	12	4 HP運営経費 158,000
9 負担金	114	115	△ 1	5 会費 114,000
12 諸 費	300	300	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道町内会連合会会費</li> <li>・胆振管内町内会連絡協議会会費</li> <li>・苫小牧心身障害者職親会会費</li> <li>・暴力追放運動推進協議会会費</li> <li>・介護者を支える会会費</li> <li>・東胆振精神保健協会会費</li> </ul>
				6 諸費 300,000
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織運営諸費</li> <li>・慶弔費ほか</li> </ul>
<b>2 会議費</b>	576	606	△ 30	
1 旅 費	337	319	18	1 総会 68,000
2 需用費	52	64	△ 12	2 理事会 172,000
8 使用料	39	73	△ 34	3 委員会・部会 137,000
9 負担金	123	125	△ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務委員会(3回)</li> <li>・事業委員会(3回)</li> <li>・表彰審査委員会(3回)</li> <li>・女性部会(3回)</li> <li>・監事会(1回)</li> <li>・正副会長会議(12回)</li> </ul>
12 諸 費	25	25	0	
				4 ブロック会議 1,500円×82町内会 123,000
				5 北海道町内会連合会総会(札幌市) 21,420
				6 胆振管内町内会連絡協議会総会・理事会(伊達市) 39,000
				7 事務担当者会議他事務連絡(札幌市) 15,580

款	予 算 額		比 較	説 明
	項			
	本年度	前年度		
<b>2 事業費</b>	<b>5,645</b>	<b>5,325</b>	<b>320</b>	
<b>1 研修費</b>	590	1,547	△ 957	
1 旅 費	48	355	△ 307	1 町内会活動推進研修会 214,000
2 需用費	77	243	△ 166	2 北海道町内会連合会各種研修会 289,000
3 印刷製本費	20	27	△ 7	3 胆振管内町内会連絡協議会研修会（伊達市） 87,000
8 使用料	266	439	△ 173	
9 負担金	74	146	△ 72	
10 報償費	60	60	0	
12 諸 費	45	277	△ 232	
<b>2 活動費</b>	4,760	3,518	1,242	
1 旅 費	372	0	372	1 町内会加入促進事業 300,000
2 需用費	3,478	3,168	310	・加入促進用リーフレット作成等
3 印刷製本費	300	300	0	・「会費納入票」作成
13 委託料	540	0	540	2 町内会活動活性化事業 954,000
12 諸 費	70	50	20	・「(仮称)電子町内会」調査研究
				3 新年交礼会 3,506,000
				・町内会連合会
				・町内会連合会女性部会
<b>3 顕彰費</b>	295	260	35	
2 需用費	135	100	35	1 永年功績者表彰経費 295,000
3 印刷製本費	160	160	0	
<b>3 助成金</b>	<b>310</b>	<b>310</b>	<b>0</b>	
<b>1 助成金</b>	310	310	0	
11 助成金	310	310	0	1 北海道町内会連合会事業助成金 310,000
				・ひとりの不幸もみのがさない住みよいまち づくり全道運動活動費助成金（5町内会）
				・防災活動研修会支援助成金（3町内会）
<b>4 予備費</b>	<b>1,000</b>	<b>1,000</b>	<b>0</b>	
<b>1 予備費</b>	1,000	1,000	0	1 予備費 1,000,000
<b>合 計</b>	<b>8,675</b>	<b>8,322</b>	<b>353</b>	

## 令和3年度 町内会活動保険 特別会計収支予算（案）

総 括  
 収入金額 2,899,000円  
 支出金額 2,899,000円

収入の部 (単位:千円)

款 項	予 算 額		比 較	説 明
	本年度	前年度		
<b>1 負担金</b>	<b>449</b>	<b>450</b>	<b>△ 1</b>	
1 負担金	449	450	△ 1	1 各町内会保険金 449,600
<b>2 助成金</b>	<b>1,300</b>	<b>1,300</b>	<b>0</b>	
1 市助成金	1,300	1,300	0	1 町内会活動保険市助成金 1,300,000
<b>3 繰入金</b>	<b>1,100</b>	<b>1,100</b>	<b>0</b>	
1 繰入金	1,100	1,100	0	1 運営財源準備基金繰入金 1,100,000
<b>4 雑収入</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	
1 雑収入	1	1	0	1 預金利息 1,000
<b>5 繰越金</b>	<b>49</b>	<b>46</b>	<b>3</b>	
1 繰越金	49	46	3	前年度繰越金 49,783
<b>合 計</b>	<b>2,899</b>	<b>2,897</b>	<b>2</b>	

支出の部 (単位:千円)

款 項	予 算 額		比 較	説 明
	本年度	前年度		
<b>1 保険料</b>	<b>2,847</b>	<b>2,847</b>	<b>0</b>	
1 保険料	2,847	2,847	0	1 町内会活動保険料 2,846,720
<b>2 総務管理費</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>0</b>	
1 一般事務費	20	20	0	1 需要費 10,000 2 役務費 10,000
<b>3 予備費</b>	<b>32</b>	<b>30</b>	<b>2</b>	
1 予備費	32	30	2	1 予備費 32,663
<b>合 計</b>	<b>2,899</b>	<b>2,897</b>	<b>2</b>	

## 令和3年度 運営財源準備基金調書（案）

（単位：円）

令和2年度基金残高	令和3年度 増減額			令和3年度末基金残高
	増	減	差引増減額	
16,625,319	34,245	1,100,000	△ 1,065,755	15,559,564

※ 町内会活動保険特別会計へ繰出による減額110万円

## 運営財源準備基金運用調書

（単位：円）

運用方法	運用先	利率	運用益	
普通預金	苫小牧信用金庫	1,244,851	0.001%	27
	北洋銀行	308,772	0.001%	2
定期預金	苫小牧信用金庫	2,000,000	0.010%	170
	北海道銀行	2,000,340	0.010%	170
	北洋銀行	5,005,601	0.010%	424
平成24年度 北海道公募公債 (償還日R04.10.31)	北洋銀行	5,000,000	0.790%	33,452
合	計	15,559,564		34,245

※北洋銀行(普通預金)は、平成24年度北海道公募公債の利金及び普通預金利息積立として運用

## 令和3年度 特別事業基金調書（案）

（単位：円）

令和2年度基金残高	令和3年度 増減額			令和3年度末基金残高
	増	減	差引増減額	
5,255,664	445	0	445	5,256,109

## 特別事業基金運用状況調書

（単位：円）

運用方法	運 用 先	利 率	運 用 益
定期預金	とまこまい広域 農業協同組合	0.01%	445
合	計		445